

■中村元 インド哲学者。「東洋人の思惟方法」以降、比較思想宗教の国際的権威となり、膨大な業績を遺した。

なかむらはじめ

明治天皇没・1912＝ 松江市で、保険アクチュアリ中村喜代治・トモの長男に生まれ、
大正政変・・・1913＝ 1歳：父の転勤のため、一家で東京に移住。

ベルリン条約・1919＝ 7歳：東京市立誠之小学校入学。

原敬首相暗殺1921＝ 9歳：

関東大震災・1923＝11歳：関東大震災で被災し、大阪、常磐松小学校に通う。

護憲三派圧勝1924＝12歳：誠之小学校に復学。

治安維持法・1925＝13歳：卒業し、東京高等師範学校付属中学校入学。腎臓を患って、一年間休学。

└浄土真宗の篤信者だった母の影響を受け、生涯在家仏教の立場を堅持。

海軍軍縮条約1930＝18歳：終了し、第一高等学校文科乙類入学。

満州事変・・・1931＝19歳：

国際連盟脱退1933＝21歳：卒業。ドイツ大使館より表彰される。└東京帝国大学文学部印度哲学梵文学科に入学。

二二六事件・1936＝24歳：卒業論文「中論の哲学」を書いて卒業し、大学院に進む。

日中戦争始・1937＝25歳：父が死去。

第二次大戦始1939＝27歳：

日米開戦・・・1941＝29歳：└博士課程を満期修了し、

創価学会検査1943＝31歳：*「初期ヴェーダーンタ哲学史」で文学博士。東京帝国大学助教授となり、

年金+総武装 1944＝32歳：野津洛子と結婚。

敗戦・・・1945＝33歳：

新憲法公布・1946＝34歳：長女純子が誕生。

新憲法施行・1947＝35歳：この年、インドが独立。東京久我山に居を構える。└「佛教語邦訳辞典」刊行。

極東裁判決・1948＝36歳：

三大事件・・・1949＝37歳：二女慈子が誕生。*初期の代表作「東洋人の思惟方法」刊行、アメリカで注目され、

朝鮮戦争始・1950＝38歳：この年、インド共和国が成立。

独立回復・・・1951＝39歳：└スタンフォード大学客員教授として出講以降、世界的に活動し始める。

メデー事件・1952＝40歳：アメリカより、ヨーロッパを経て、初めてインド各地を歴訪。

自衛隊発足・1954＝42歳：└東京帝国大学教授に就任。

55年体制始・1955＝43歳：ラングーンでのアジア知識人会議に出席。

国連加盟・・・1956＝44歳：日本印度学仏教学会理事。岩波全書「インド哲学史」。インド政府主催釈尊生誕2500年式典出席。

なべ底不況・1957＝45歳：*前年全四巻刊行終了した「初期ヴェーダーンタ哲学史」により、日本学士院恩賜賞。

インフラマシ・1958＝46歳：岩波全書「比較思想論」。国際宗教学宗教史学会(東京)でミルチャ・エリアーデと論議。

美智子妃・・・1959＝47歳：第三回東西哲学会議に正式会員出席(以後、3回出席)。「宗教と社会倫理」。この年、チベット紛争。

安保闘争・・・1960＝48歳：マニラでのカトリックのパクスロマーナ会議に出席。インド政府の招待により南インド視察。└ユネスコ国内委員会によって「東洋人の思惟方法」が英訳され、以後、海外で広く読まれる。

タイタイ病始・1961＝49歳：米・コルゲート大、イエール大で講演の後、フロリダ大学客員教授に就任。

全国総合計画1962＝50歳：ホノルルでの東西センターセミナーに出席し、英語版「東洋人の思惟方法」改訂、刊行。

TV宇宙中継始1963＝51歳：米・ハーバード大学客員教授就任。「インド古代史」上巻刊行。

東京初ビッグ・1964＝52歳：以後2年、東京大学文学部長。

いざなぎ景気1966＝54歳：米・プリンストン大学での世界宗教共存会議に出席。ヴィシュヴァ・バーラティ大学名誉哲学博士、インド・サンスクリット学会から"知識の博士"号。「インド古代史」下巻刊行。

美濃部都知事1967＝55歳：母が死去。オーストリア学士院遠隔地会員。└「佛教語大辞典」の原稿を紛失し、

霞ヶ関ビル・1968＝56歳：└執筆再開するとともに、辞典独執筆しながら、

大阪万博・・・1970＝58歳：└その研究会をもとに、財団法人東方研究会を設立し、初代理事長に就任。

ドルショック・・・1971＝59歳：前年より、米、韓、印で精力的に講演。

日中国交回復1972＝60歳：「原始仏教」、

石油ショック1973＝61歳：インド・デリー大学名誉文学博士。└定年退官すると、財団法人「東方学院」を設立し学院長。

角栄金脈辞任1974＝62歳：米・ニューヨーク市立大学客員教授。└紫綬褒章。比較思想学会を設立し、会長。

クランプール事件1975＝63歳：米・加の諸大学で講義。└天皇に御進講。4万5千語を収録した「仏教語大辞典」が刊行され、仏教伝道文化賞、毎日出版文化賞特別賞。

JALハイジャック・1977＝65歳：「世界思想史」全七巻完結。インドのパリー研究所名誉博士。ボンヤソウルの学会で基調講演。└文化勲章。

成田衝突・・・1978＝66歳：イギリスの王立アジア協会名誉会員。ネパール国王より勲章。

革新大敗北・1979＝67歳：インドのヴィシュヴァ・バーラティ大学より名誉学位。

貿易摩擦問題1980＝68歳：ユネスコのパリ会議参加。東洋思想学術交流代表団団長で北京へ、西安大学「仏教学会議」設立記念講演。

・・・・・・・・1981＝69歳：哲学神学大学(ウィーン)での会議出席。国際ジャイナ教学会(ストラスブール)出席。

中曽根内閣・1982＝70歳：スリランカのケラニア大学より名誉学位。中国の西北大学名誉教授。

デイズーラト・1983＝71歳：比較思想学会名誉会長。ユネスコのオタワ会議やスウェーデン学術会議(ストックホルム)に出席。円光大学校馬韓百済文化研究所で記念講演。└「インド仏教書誌学的概論」で国際文化賞国際交流基金賞。

・・・・・・・・1984＝72歳：ハワイ・韓国・インドなどで基調講演。└勲一等瑞宝章を受け、日本学士院会員となる。

ジャンボ機墜落1985＝73歳：└「中村元の世界」が刊行される。

バブル始・・・1986＝74歳：漢陽大学(ソウル)主催{東アジア文化と韓国}基調講演。

竹下内閣・・・1987＝75歳：インド政府や北京大学主催、さらに中国社会科学院・中外日報共同主催の会議で講演。

リクルート事件・1988＝76歳：ニーダーザクセン州ハノーヴァーで講演。└「中村元選集(決定版)」刊行開始、

昭和天皇没・1989＝77歳：ラーダークリシュナン生誕100周年記念セミナー(デリー)に出席。松江市名誉市民。「シャンカラの思想」、

ドイツ統一・・・1990＝78歳：ジュネーブ大学主催の国際会議で講演。

ソ連崩壊・・・1991＝79歳：└インドで中村元博士記念論集が刊行される。パリー語の「ジャータカ全集」で日本翻訳文化賞。

バブル崩壊・1992＝80歳：└ドイツ学士院客員会員。オーストリア学士院より業績を讃えられる。

55年体制終・1993＝81歳：

自社さ連立・1994＝82歳：└足利学校席主に就任したが、

オウム事件・・・1995＝83歳：└ユネスコとスペイン諸団体による東西交流のための大学設立会議(グラナダ)に参加したのを最後に、

石原都知事・1999＝87歳：*NHK放送文化賞。「中村元選集(決定版)」全四〇巻が完結してまもなく、没した。

道の手帖「中村元」、